

ごあいさつ
—新生「園研」の発足にあたって—

この度の公益法人改革法案施行にともない、財団法人 日本園芸生産研究所は、平成 24 年 10 月 1 日より、公益財団法人 園芸植物育種研究所と名称を改めて出発させていただくことになりました。

旧組織は昭和 22 年、千葉農業専門学校が同校同窓会の経済的支援を受けて、戦後の困窮した研究環境を補完するために、園芸研究所を設立したものです。爾来、千葉大学園芸学部と密接な協力関係を保ちつつ、わが国の園芸産業の発展・興隆に微力を尽くしてまいりました。特に、「雑種第一代を利用した野菜品種の開発」、「農業用ビニルの開発」、「換気扇の農業への利用」、「省エネ技術の開発」等では、先端的な情報と技術を実用化するお手伝いをさせていただきました。この 60 年間、国からの補助金を一切いただくことなく、独自に開発した研究成果の野菜品種からの収益を主にして運営してまいりました。この組織も創設 60 年の還暦を迎え、これまでの輝かしい業績に加えて、より公益的な業務を拡張し、飛躍するために、新法人はスタートします。

法人名を「育種研究所」と改めたのも、これまでの実績を踏まえたものですが、新法人の事業目的は、これまでと変わらず、「園芸植物の基礎から応用までの総合的研究ならびにその支援を行い、園芸植物の栽培技術の向上と農業経営の安定を図り、もって国民の健康維持、増進ならびに食生活の向上に寄与することを目的とする」になっております。このために、園芸植物の品種改良、栽培技術の開発、食の安全・安心に関わる研究を行い、ならびにこれらの研究を助成しようとしています。

略称の「園研」は新法人でも変わりませんので、これまで通り、暖かいご指導、ご鞭撻をいただきたくお願い申し上げます。

平成 24 年 10 月 1 日

公益財団法人 園芸植物育種研究所
理事長 伊 東 正